

(家庭数配布)



5年生出前授業の様子です。

今月16日(月)・17日(火)、ダイハツ工業の方に講師としてお越しいただき、自動車の製造についてのお話を伺いました。1台の自動車を作るためには数多くの工程を経なければならないわけですが、その学習のため、各ブースに分かれ説明を聞き、作業を体験させていただきました。



説明を聞きます



やってみましょう！

工業については教科書でも学びますが、これを職業としておられる方のお話はやはり説得力があります。子どもたちも、熱心に聞き入っていました。

オンライン授業です。

インフルエンザのため、2年2組が学級休業となりました。そこで、担任の高畑先生がオンライン授業(算数)を行いました。

他のクラスでも、休んでいる子に向けて、教室での授業の様子をオンラインで配信することがあります。



変わった人こそ大切に！

時々、「えっ！」と、周囲の人を驚かせる発言や行動をする人がいます。どちらかと言うと、そういう人を煙たがったり、変人扱いをしてしまう傾向が日本人の中にはあるように思います。しかし、歴史を振り返ってみると、世の中の流れを大きく変えてきた人は、そんな人であることが多いです。

例えば、ライトきょうだいがそうです。皆様ご存知の通り、ライトきょう代いは動力飛行機を発明しました。ただ、今からおよそ100年少し前は、機械が空を飛ぶなんて、そんなことができるはずがないと言われてたり、きょう代いの研究を近所の人には迷惑がったり、それこそ変人扱いをしたようです。ところが今はどうですか。海外旅行に飛行機を使うことは、ごく普通のことになっています。また、コペルニクスは今から約500年前に「動いているのは地球である。」と唱えましたが、当時は科学よりも宗教的な思想が一般的であったため、この主張は異端とされ、生命さえ危うい状況があったようです。しかし今となつては、このコペルニクスの説が近代天文学の始まりとされています。ライトきょう代いにしろ、コペルニクスにしろ、その当時は「変わった人」でしかなかったわけですが、もし彼らの存在がなければ、今の世界はどうなっていたことでしょう。

学校で子どもたちを見ていると、中には「ちょっと変わったことを言うな〜」という子もいますが、そんな子こそ大切にすべきであり、はじき出してしまうような集団は伸びていかないと私は思います。個性を尊重することが前提、排除は絶対にダメです。「この子、面白い。」と捉え、その発言をどう活かすか考えなければなりません。実際に私が授業をやっている時も、突拍子もないようなことを言う子がいましたが、そんな発言こそが授業を面白くしてくれました。(ただ、私がそのような発言に食いつき授業が脱線していくと、「ちゃんと授業をやってください。」と言う子もいましたが…。(´▽`;))

大人の世界でも同じようなことが言えるのではないのでしょうか。「今まで通り」のことをやっていけば確かに無難ではあるのですが、新しい提案や辛辣な批判も含めて、「まずは受け入れてみよう。」と捉える組織でないと進歩や発展はあり得ず、衰退、消滅していくことは多くの事例からも明らかです。

最後に強引にまとめに持っていきます。「**変わった人こそ大切に！**」

◇ジョギングタイムが「まつば」に掲載されます！

10月より始めていますジョギングタイムですが、PTA広報委員会の方が来られ、走っているところを写真に撮っていただきました。この写真は「まつば」に掲載されるということです。どんな写真が掲載されるのでしょうか？私自身がいちばん楽しみにしているかもしれません。